

武蔵野銀行を取り巻く外部環境

武蔵野銀行を取り巻く環境は、人口減少や高齢化の進展に加え、デジタル技術の飛躍的進化や脱炭素に向けた社会的要請の高まりなど、これまでの社会・産業構造を大きく変革させる流れが加速しております。

主な外部環境

埼玉県

恵まれた地勢・インフラのもと、人口・産業が高度に集積

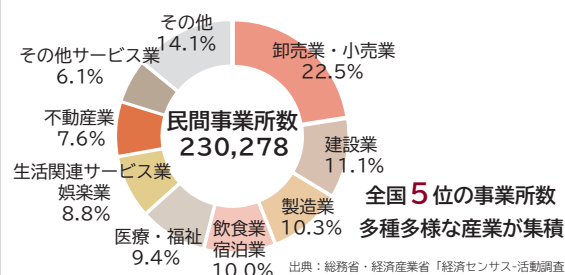
埼玉県内の名目GDPは24.6兆円で全国第5位、総人口も728万人で全国第5位と、恵まれた経済環境にあります。加えて、高速道路や鉄道など暮らしに役立つ充実した交通ネットワークを有し、首都圏でありながら県土の約3分の2が緑地で豊かな自然に囲まれています。

経済指標

指標	埼玉県
県内総生産（名目）	24.6 兆円 5 位
新設住宅着工件数	5.1 万戸 5 位
生産年齢人口	448 万人 5 位
製造品出荷額等	15.3 兆円 6 位
年間商品販売額	17.2 兆円 7 位

出典：統計からみた埼玉県のすがた 2026

産業構造



緩やかながらも進行していく**人口減少**
全国一のスピードでの**高齢化進展**

中小企業における**経営課題の多様化、複雑化**

脱炭素に向けた社会的要請の高まり

自然災害・サイバー脅威の拡大

AI技術の飛躍的進化

地域活性化の取り組み強化への期待

金融規制緩和に伴うビジネス機会創出と異業種参入

中長期的に
ビジネスモデルに影響を及ぼす
リスクと機会を抽出

地域金融機関

日本銀行の金融政策正常化・「賃金と物価の好循環」の浸透

国内経済は、堅調な企業業績のもと企業の賃上げ姿勢が継続し、日本銀行の金融政策正常化と相まって、「賃金と物価の好循環」に向けた成長軌道がより鮮明となっており、地域金融機関においては、金融仲介機能の一層の発揮とお客さま本位の業務運営の実践を通じた地域経済及び社会の活性化に貢献する持続可能なビジネスモデルの確立、その前提となる経営の健全性・透明性の更なる向上に向けた不断的努力が求められています。